

リリースノート：Dominion[®] KX III ユーザーステーション（バージョン 4.0）

日付：2019年5月

サポート対象の Dominion KX モデル：

DKX3-108, DKX3-116, DKX3-132, DKX3-216, DKX3-232,
DKX3-416, DKX3-432, DKX3-464, DKX3-808, DKX3-832, DKX3-864
DKX2-101-V2（2019年6月販売終了）
DKX4-101

互換性の情報：

- ・4.0へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーションが3.1である必要があります。
- ・Dominion KX III のファームウェアは、リリース3.2以降である必要があります。
- ・CommandCenter Secure Gateway(CC-SG)と連携するためには、CC-SGのファームウェアが7.0である必要があります。

Dominion KX III ユーザーステーションの概要

Dominion KX III ユーザーステーションは、KX III KVM-over-IP スイッチに接続されているリモートサーバーやワークステーションへ IP ネットワーク経由でアクセスして高いパフォーマンスを提供する単体稼働のアプライアンス製品です。また、CommandCenter 連携オプションにより、RDP、VNC、SSH を介したアクセスも可能です。研究室やスタジオ、コントロールルーム、オフィス、データセンター等に最適なユーザーステーションは、IP ネットワークの標準的な Ethernet ケーブルである Cat5/6 を利用して、容易に設置することができます。ユーザーステーションには、柔軟性と生産性に優れたパワフルなデスクトップユーザーインターフェースが用意されており、シングル且つデュアルモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートし、約 8 台のターゲットへの同時アクセス、参照、制御が可能です。

ファームウェアの概要

3.1 のアップデートであるバージョン 4.0 は、新製品 Dominion KX4-101、VMware 仮想マシンへのアクセス、Web アクセス機能（制限あり）の提供、4K デスクトップ利用環境の向上等の機能強化を提供します。詳細は、以下をご覧ください。

Dominion KX III ユーザーステーション リリース 4.0 の新機能

・**Dominion KX4-101 (DKX4-101) サポート** 新製品の Dominion KX4-101 は、バージョン 4.0 で正式にサポートされます。この新製品の機能である 4K ビデオ、接続設定、外部機器制御、オーディオ等の各種機能をサポートするための変更が行われました。

- **4K User Station Desktop Scaling (画面拡大機能)** ユーザーステーションで4Kデスクトップを使用する場合、高精細モニターに表示した時に画面の文字やデザインが小さすぎる事があります。画面の文字の判読や使い勝手を向上させるために、画面を拡大する機能が用意されています。
- **VMware 仮想マシンへのアクセスをサポート** 管理者によって許可されたユーザーは、VMware の「ESXi Embedded Host Client」して User Station Navigator から仮想マシンに接続することができます。この機能は、CommandCenter の管理下のノードとユーザーステーション単体での両方で利用可能です。
- **Web 接続のサポート** 管理者によって許可されたユーザーは、User Station Navigator から Web アクセスが可能です。例えば、「Remote Control」機能が有効になっている別のユーザーステーションへ接続したり、DKX3、DKX4-101 などの KVM デバイスの Web ユーザーインターフェースにアクセスできます。ただし、Java、Flash、プラグインの利用はサポートしておらず、簡易的な表示機能としてご利用いただけます。
- その他修正、セキュリティアップデート、機能強化/拡張、ドキュメントの更新が含まれます。

Dominion KX III ユーザーステーションドキュメント

Dominion KX III ユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

- **Dominion KX III ユーザーステーションガイド**

—ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するドキュメントです。

- **Dominion KX III ユーザーステーションクイックセットアップガイド**

—ユーザーステーションの初期セットアップについて記載したドキュメントです。

ユーザーステーションのドキュメントは、ラリタンの Web サイト (<http://www.raritan.com/>) からダウンロードできます。サポートページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選択すると、ドキュメントがリリースごとに表示されますので、ご希望のリリースをクリックしてください。

オンラインヘルプ

ユーザーステーションは、[Main Menu]->[Help]->[User Manual]からオンラインヘルプを呼び出す事ができます (要インターネット接続)。[Contents]、[Index]、[Search]を利用して、適切なトピックを参照することが可能で、テキストや画像を用いたユーザーステーションの全容をご参照いただけます。

また、このガイドには関連事項へのリンクが多数用意されています。
ラリタンの Web サイトでは、「サポート」セクションからオンラインヘルプをご利用いただくことも可能です。

互換性情報

1. リリース 4.0 へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーションにおいてリリース 3.1 が動作している必要があります。
2. このリリースは、新製品である Dominion KX IV シングルポートスイッチ (DKX4-101) に正式に対応しています。
3. このリリースは、Dominion KX III のリリース 3.2 以降および DKX2-101-V2 に対応しています。
4. ユーザーステーションは、Dominion KX, KX II, LX, KX II には対応していません。
5. ユーザーステーションは、ラリタンが提供する CommandCenter Secure Gateway 7.0 と連携可能です。

留意事項および重要な情報

ユーザーステーションに関する重要な情報につきまして、以下をご参照ください。

1. **CC-SG 連携** このリリースでユーザーステーションは CC-SG 7.0 と連携します。
 - a. 現時点では、CC-SG の全てのインターフェースがサポートされているわけではありません。Dominion KX III、KX2-101-V2、VMware 仮想マシンへの接続（新機能）、RDP、VNC、SSH ノードがサポートされています。
 - b. CC-SG の Proxy Mode は、VNC、RDP、SSH インターフェースをサポートしていません。VNC、RDP、SSH に対する接続は、CC-SG のログに記録されません。
 - c. CC-SG との連携にあたっては、「クラスタ構成の CC-SG との連携」や「ポートスキャン」等が利用できません。詳細はユーザーステーションのドキュメントご参照いただくか、サポート窓口へお問い合わせください。なお、これらの制限は、今後のリリースで取り除かれる可能性がございます。
2. **Ultra HD 4K ビデオ** 4K ビデオは、HD ビデオ (1080p) の 4 倍のピクセル情報を持っています。最高のパフォーマンスを実現するためには、2019 年後半以降にリリースが予定されております新しい KX IV ユーザーステーション (DKX4-UST) を使用してください。KX III ユーザーステーションで 4K ビデオ環境を利用する際には、HDMI ではなく Display Port を使用してモニターと接続してください。

3. **ユーザーステーションの Web ブラウザアクセス** この機能は、ユーザーステーションのリモートコントロールや Dominion KX III や KX IV などのデバイス管理用の単純なインターフェースです。そのため、証明書の確認やファイルのダウンロード/アップロード、オーディオ、ビデオ、Java、プラグイン、ポップアップなど、最新の Web ブラウザが備えている多くの機能がサポートされていません。詳細につきましては、ドキュメントをご確認ください。

4. **VNC/RDP/SSH 接続** RDP もしくは SSH で接続している場合、Navigator に接続中を表す強調表示（太字）をしません。また、RDP と SSH 両方のインターフェースを持つターゲットは、「open in current」および「close」メニューを表示しません（VNC 接続は表示します）。なお、RDP 接続のターゲットに認証情報が設定されていない場合、Navigator から選択しても RDP ウィンドウは起動しません。

5. **Port Scanner** セカンダリモニター上で Port Scanner を長時間実行していた場合、一時的に停止してしまうことがあります。対処としては、一旦 Port Scanner を閉じて再実行するか、[Pause] ボタンを押してから [Resume] ボタンを押す必要があります。

6. **管理者用初期パスワード** セキュリティの観点から、初期パスワードの変更を推奨します。

7. **2 種類のユーザー認証** ユーザーステーションでは、(a) ユーザーステーションにログインする認証（ログインユーザー/パスワード）と (b) Dominion KX III にアクセスするための認証が使われます。

(a) ユーザーステーションにアクセスするためには、ユーザーステーションの認証が必要であり、また認証情報によってユーザーステーションの管理機能へのアクセス権限が割り当てられます。これらの認証情報は、ユーザーステーションの管理者によって作成されます。

(b) Dominion KX III の認証情報は、KVM スイッチに接続されているサーバーへの接続可否が判定され、仮想メディアやリモート電源制御といった付加機能の割り当てを行いません。

CC-SG と連携する場合、ユーザーステーションへの認証と KVM スイッチの認証は使用されず、CC-SG の認証情報が利用されます。この場合、ユーザーステーションで認証情報を設定する必要はありません。

8. **ユーザー毎の認証情報** Dominion KX III のユーザー認証情報は、各ユーザー毎に保存されます。CC-SG を使用する場合を除き、ユーザーは使用する各 KVM スイッチ毎に各々のユーザー認証情報を入力・保存する必要があります。

9. **FIPS 140-2 モード** FIPS 140-2 暗号モジュールを利用する場合、以下の制限事項があります。

- a. KX III スイッチのターゲットに接続するためには、FIPS 対応の現行の Windows OS 等や KX III のルート証明書をインストールしたユーザーステーションが必要です。
- b. 暗号化された LDAP 接続である LDAPS を利用する環境では、FIPS 140-2 暗号モジュールを使うことはできません。
- c. TLSv1.2 を使用する環境で FIPS 140-2 暗号モジュールが有効になっている場合、KX III のターゲットに接続することはできません。

10. **ユーザーブロック機能** KX III の「ユーザーブロック」機能が有効である状態で、ユーザーステーションから誤ったユーザー認証情報を複数回入力すると、その KX III に対するアクセスが自動的にブロックされます。これを解除するためには、KX III の管理者に問い合わせてください。
11. **ユーザーステーションの停止手順** ユーザーステーションを停止する場合は、[Leave]->[Shut Down]を実行してください。ユーザーステーションが起動状態の時に電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いてしまった場合、データベースが破損することがあります。
12. **ビデオ機能に関する留意事項** ユーザーステーションには3つのディスプレイポートが用意されていますが、同時に接続できるモニターは2つまでです。DisplayPort や HDMI は、映像と音声の両方の信号を利用できますが、音声を利用する場合はご利用のモニターが音声出力に対応している必要があります。また、デュアルモニターにも対応しています。
13. **音声に関する留意事項** [Auto Connect Audio]を有効にしていない場合、ターゲットに接続後、手動で音声接続を行なうことが可能です。
14. **ネットワークに関する留意事項** ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は [Automatic (DHCP)] です。静的アドレスが必要な場合は、Dominion KX III の設定より先にネットワーク設定を実施してください。なお、Dominion KX III の HTTPS および Discovery (検出ポート) の TCP ポートの設定を初期値から変更しないでください。
15. **デュアル LAN ポート** ユーザーステーションの2つの LAN ポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続可能です。ユーザーステーションの電源を入れた時、もしくは再起動した時に両方の LAN ポートがネットワークに接続されていますと、ユーザーステーションはいずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更した場合、直近で変更されたネットワークが自動的にデフォルトの接続となります。
(注) デフォルトの接続は [Connection Information] ダイアログで確認できます。
16. **Ctrl+Alt+Del** ユーザーステーションで使用しているキーボードで Ctrl+Alt+Del キーを入力しても、ターゲットには送信されず、デフォルトではユーザーステーションのシャットダウンもしくは再起動を実行するダイアログが表示されますこのキーシーケンスをターゲットへ送るためには、ターゲットのウィンドウを開いているときに [Send Ctrl+Alt+Del] ボタンを押下するか、ユーザーステーションの [Hotkeys] の設定を変更する必要があります。
17. **仮想メディア** ターゲットサーバーに接続された仮想メディアを切断する際は、「安全な取り外し」または「イジェクト」を実行する事をお勧めします。[Read/Write] (読み取り/書き込み可能) モードが有効の状態での手順を実施せずに仮想メディアを切断した場合、データの損失が発生する恐れがあります。
18. **ファームウェアのダウングレード** ファームウェアのアップグレード機能は、基本的にダウングレードを許可していません。ダウングレードが必要な場合は、テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。なお、ファームウェアのアップグレード (必要に応じてダウングレード) を行なう場合は、ユーザーステーションのバックアップを取る事を強く推奨します。また、アップグレード中にユーザーステーションの電源は切らないでください。

19. **KVM のティア構成とブレードサーバーへの接続** 現行のユーザーステーションは、Dominion KX III のティア構成とブレードサーバーへの接続をサポートしていません。
18. **シリアルポート** ユーザーステーションには運用管理向けのシリアルポートを用意していません。
19. **オンラインヘルプ** オンラインヘルプをユーザーステーションから表示した場合、[email this page], [send feedback], [print this page]の各ボタンは利用できません。これらのボタンを利用したい場合は、インターネット環境に接続された PC 等の Web ブラウザから操作してください。

ファームウェアのアップグレード

前提条件：リリース 4.0 へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーションにおいてリリース 3.1 が動作している必要があります。

- ・ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含むファームウェアのアップグレードリリースを提供しています。アップグレードモジュールは、ラリタンの Web サイトから入手してください。

<http://www.raritan.com/jp/>

「サポート」ページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選んでください。

現在提供中の最新のファームウェアが表示されますので、必要に応じてダウンロードしてください。

- ・ファームウェアのアップグレード手順は、ユーザーステーションのオンラインヘルプもしくはユーザーマニュアルを参照してください。
- ・アップデートを実行する前に、新しいファームウェアのリリースノートをご参照ください。
- ・ご不明点は、ラリタンのサポート窓口までお問い合わせください。